

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

1. 事業概要

一般財団法人奈良市総合財団は、奈良市が設置する公共施設の指定管理者として、利用者の視点に立った管理運営に努め、多様化するニーズに応じてあらゆる人にとって利用しやすい施設を目指すとともに、文化・スポーツ・武道の普及振興事業及び「ならまち」・「都祁地域」の歴史文化資産を利用した地域振興事業並びに中小企業勤労者に対する福利厚生事業を実施し、文化の創造及び市民福祉の増進に努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、前年度に引き続き細心の対策を講じて、市民の皆様が安心・安全に利用できるよう施設管理や事業の取り組みを進めた。

当財団の運営に当たっては、奈良市の厳しい財政状況に鑑み経営基盤の財源確保を図るべく事業計画における収益性の強化を目指し、さらには経費節減と事業の質的向上に取り組み、市民や利用者の要請にきめ細かく応える為の努力を重ね地域社会の発展に寄与するべく事業運営を進めた。

2. 事業内容

各施設の設立趣旨等を踏まえた管理運営と文化の創造と福祉の増進に寄与することを目的として文化振興事業、スポーツ・武道普及振興事業、まちづくり振興事業、勤労者福祉サービス事業、都祁地域振興事業を推進した。

(1) 文化振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

なら100年会館	入館者数	93,350人	(249.8%)
奈良市美術館	入館者数	24,205人	(52.6%)
奈良市北部会館市民文化ホール	入館者数	46,418人	(37.2%)
奈良市杉岡華邨書道美術館	入館者数	3,078人	(50.9%)

新型コロナウイルス感染症の影響で施設の臨時休館や利用制限、事業の中止もあったが、細心の感染症対策を講じた施設運営により、入館者は前年度より大幅に増加し、なら100年会館では、約66,000人、奈良市北部会館市民文化ホールは、約12,600人の増加となった。

奈良市美術館では、臨時休館による貸館の使用中止やキャンセルもあったが、入館者数においては、主催事業であるオープンミュージアムプロジェクトの展覧会で予想を大

幅に上回ったため、前年度より約8,300人の増加となった。

奈良市杉岡華邨書道美術館でも、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館もあったが、前年度より入館者数は約1,000人の増加となった。

(事業内容)

豊かな市民文化の形成を図り、鑑賞・創造・学習を柱に市民の美術鑑賞と創作活動の活性化に寄与するための事業を実施した。

○なら100年会館

多くの事業が中止や延期を余儀なくされる中、入場制限を守る等の感染症対策を講じた上で様々な宗派の僧侶の講和が楽しめる法話グランプリ、石川さゆりや高嶋ちさ子等のアーティストによるコンサート、子どもたちを中心としたファミリー向けコンサートや人形劇公演、その他、体験事業として種類の違うピアノを弾き比べできるピアノ試弾会や感染症対策を見込んだ新たな取り組みとしてオンライン視聴も可能としたクラシックコンサートを開催する等、コロナ禍の中でも市民の方々に音楽の素晴らしさを再認識していただくことができた。

また、ソーシャルディスタンス確保のため定員を削減する等の感染症対策を講じた上で健康いきいき講座(ヨガ教室、ソフトストレッチング教室、ピラティス教室)を開催し市民の健康維持に寄与することができた。

催事等の開催回数 266回 参加人数 31,771人

○奈良市美術館

全ての事業において、奈良市の対応方針による感染症対策を講じた上で開催した。

主催・共催による展覧会として、奈良市美術家協会と連携して会員による優れた作品を展示する「第40回奈良市美術家展」、美術作品の創作意欲を高めるための公募展「第40回市展なら」、近代奈良の芸術、歴史、生活文化を掘り下げて紹介するシリーズの企画展「奈良を観る」、児童生徒の図工美術の成果を紹介する「第18回奈良市児童生徒作品展」を感染拡大防止対策により不参加校もあったが開催し、新規事業では、市内中学校の美術作品を紹介する「第2回奈良市中学校美術部合同展 若鹿たちの美術」、子どもから大人まで楽しめるオープンミュージアムプロジェクト「創作活動35周年 千光士義和の世界 動くダンボールアート」を開催し市民文化の創造と振興の促進を図った。

その他、講座関連事業として、奈良の奥深い魅力を散策しながら紹介する「奈良の散歩道」、奈良市美術家協会や奈良女子大学との連携協力による「2021年度市民実技講座・親と子のやさしいアート体験」、「第39回市民実技講座作品展」、「仏教美術講座」を開催し芸術文化の発信に寄与した。

催事等の開催回数 33回 参加人数 16,155人

○奈良市北部会館市民文化ホール

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「神功音楽祭」、「平城京ロボットオリンピック」、「高の原カルチャーサロン」、「コーラス講座」等は、開催を中止した。新しい生活様式の実践として「高の原音楽芸術協会演奏会」をオンライン形式で開催した。

また、優れた演奏を身近に鑑賞する機会を提供する「癒しのオータムコンサート」、奈良市にかかわりのある邦楽演奏家により邦楽の心を伝える「邦楽コンサート」は入場制限を行ったうえで開催した。「平城ニュータウン地区文化祭」は公演や式典を取りやめ、作品展や講座・同好会の活動状況のDVDの映像紹介を主体とした形式で開催した。各種文化・健康講座や有名な楽曲をプロのピアニストによる演奏で提供する「明日へ輝くコンサート」を開催し地域の賑わいづくりに寄与した。

催事等の開催回数 580回 参加人数 7,656人

○奈良市杉岡華邨書道美術館

春季企画展として、平安時代の古筆や奈良時代の古写経といった貴重な資料を公開する初の展覧会となった「成田山書道美術館所蔵 松崎コレクションの古筆と古写経①」や、秋季企画展として、書芸術や書教育などで活躍する多くの人材を輩出してきた書の専門教育を行う大学に焦点を当て紹介するシリーズ展の第1回となる「奈良教育大学で学んだ書家群像」展を開催した。また、前館長の佐伯華水氏を追悼する「佐伯華水遺作展」を冬季企画展として開催した。

夏季館蔵品展「華邨の心と書の世界」では、華邨が「心の書」と呼んだ精神性豊かな作品を紹介した。

「書道実技講座」では例年開催していた「年賀状の書き方」講座を「カレンダーを書こう」のワークショップにリニューアルし、高木厚人館長による、かな作品を実作する方を対象に通信添削と講評会で指導する「かなの散らしを楽しむ」講座とともに開催した。また、子ども向けの「筆書き体験コーナー」や学芸員による「作品解説会」を行った。

その他にも、本年度より奈良教育大学の仮名書道研究室に協力により子ども向けの夏休みクイズの問題作成やわらべうたフェスタでの動画作成による連携事業を開始した。また、奈良市ならまちセンターの協力により「第1回ならまち年賀状コンクール」や名勝大乗院庭園文化館での出張パネル展「華邨が書く夏のうた」の開催、動画配信による「散らし遊び」等により奈良市杉岡華邨書道美術館の広報普及を行った。

催事等の開催回数 35回 参加人数 9,651人

(2) スポーツ・武道振興事業

[指定管理施設]

管理施設の利用者数は以下のとおりであった。

※（ ）内は対前年度比

奈良市鴻ノ池陸上競技場等 11 体育施設

利用者数 530,178人 (50.1%)

奈良市鴻ノ池陸上競技場

奈良市鴻ノ池球場

奈良市鴻ノ池コート

奈良市中央体育館

奈良市中央第二体育館

奈良市南部生涯スポーツセンター体育館

奈良市柏木コート

奈良市南部生涯スポーツセンターコート

奈良市柏木球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター多目的コート 以上 11 施設

奈良市中央武道場等 4 体育施設

利用者数 60,976人 (7.6%)

奈良市中央武道場

奈良市中央第二武道場

奈良市弓道場

奈良市鴻ノ池相撲場 以上 4 施設

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等 18 体育施設

利用者数 268,333人 (23.4%)

奈良市緑ヶ丘球場

奈良市西部生涯スポーツセンター体育館

奈良市青山プール

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール

奈良市黒谷コート

奈良市平城第一コート

奈良市平城第二コート

奈良市青山コート

奈良市佐保山コート

奈良市西部生涯スポーツセンターコート

奈良市黒谷球技場

奈良市平城第一球技場

奈良市平城第二球技場

奈良市奈良阪球技場

奈良市登美ヶ丘球技場

奈良市西部生涯スポーツセンター球技場

奈良市西部生涯スポーツセンターゲートボール場

奈良市西部生涯スポーツセンタークラブハウス 以上18施設

奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設を指定管理者の奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ代表ミズノスポーツサービスと協働で管理運営を行った。令和3年度より5年間、奈良市鴻ノ池運動公園のネーミングライツスポンサーにプロバスケットボールチーム「バンビシャス奈良」のスポンサーであるロート製薬株式会社が選定され愛称が変更された。奈良市鴻ノ池陸上競技場は、オリンピック事前キャンプ地としてオーストラリア代表の女子サッカーチームが、練習会場として使用した。また、「Top Sports City 奈良」のパートナーチームの南都銀行女子ホッケー部も奈良市鴻ノ池陸上競技場トレーニング室を定期的に使用した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止及びクラスター連鎖防止のため、屋外及び屋内の記録会、大会等は中止、また利用制限、規模を縮小しての開催となった。また、奈良市中央体育館は、コロナワクチン接種会場となった。

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設では、屋内温水プール及びトレーニング室が奈良市GW特別警戒警報等により5月1日から5月31日まで休業。その他の17施設は新規受付を停止したのみで、感染症対策を講じた上で運営したことにより、前年度より利用者数が約51,000人の増加となった。

奈良市青山プールは、7月21日から8月31日の42日間、無休で開場したが、前年に引き続き入場制限を行い、約800人の減少となった。

(事業内容)

体育、スポーツ及び武道の普及振興を図ることにより、健全な心身の維持及び発達並びに明るく豊かな生活の形成に寄与するための事業を実施した。

○奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設

奈良市スポーツ協会に加盟している各種団体と連携して競技スポーツの教室や健康増進につながる事業を実施した。また、「Top Sports City 奈良」のパートナーチーム「バンビシャス奈良」、「奈良クラブ」と提携してバスケットボールスクール、サッカースクールを開催した。新規事業として「グラウンドゴルフ大会」、「アーチェリー体験会」を開催したが、「少年少女陸上教室」、「ジョイトレ」、「バドミントンスクール」等、多くの事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止及びクラスター連鎖防止のため5月1日から6月20日まで中止し、再開後も感染症対策を講じた上で開催した。

催事等の開催回数 587回 参加人数 8,645人

○奈良市中央武道場等4体育施設

武道発祥の中心地として、剣道・柔道・なぎなた・槍術・弓道等の各種武道関連団体との連携協力のもと武道教室を開催し、人格の形成、道徳心の向上、礼節を尊重する心の養成を図るとともに、武道人口の裾野の拡大及び武道の更なる発展・活性化に努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止及びクラスター連鎖防止のため5月及び6月の「武道教室」、「操体法教室」、「ノルディックウォーキング教室」並びに2月の一部教室を中止したが、前年度より実施回数を増やすことができた。

催事等の開催回数 1,045回 参加人数 17,592人

○奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

屋内温水プールや体育館を活用した「水泳教室」や「ダンベル教室」等、前年度に比べ事業の中止期間はあったが、開催回数が前年度より増えたことにより参加者数が約5,000人の増加となった。

催事等の開催回数 804回 参加人数 13,340人

(3) まちづくり振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市ならまちセンター	入館者数	85,331人(316.1%)
奈良市音声館	入館者数	39,847人(19.4%)
なら工藝館	入館者数	26,076人(28.6%)
入江泰吉記念奈良市写真美術館	入館者数	18,355人(△24.4%)
入江泰吉旧居	入館者数	3,543人(14.3%)
奈良市ならまち格子の家	入館者数	28,071人(△15.2%)

新型コロナウイルス感染症の影響で施設の臨時休館や利用制限、事業の中止、また施設改修工事による臨時休館もあったが、多くの施設は、入館者が前年度より増加した。

奈良市ならまちセンターでは、一部事業の中止や施設利用の中止及び延期、利用制限が発生したが、令和3年8月にオープンした1階飲食等スペースのギャラリーにおいて様々な展示等の事業を行い、約65,000人の増加となった。

なら工藝館でも施設改修による臨時休館及び事業の中止もあったが、施設の展示及び販売スペースのリニューアルにより入館者が約5,800人増加した。

入江泰吉記念奈良市写真美術館では、3ヶ月間の池改修工事により約6,000人の減少となった。入江泰吉旧居では、新型コロナウイルス感染症の影響により5月の1ヶ月間、臨時休館したが、感染状況が落ち着くと入館者数も少しだが復調し、約400人の増加となった。

奈良市ならまち格子の家では、約4ヶ月間の臨時休館により約5,000人の減少と

なった。

(事業内容)

なら・まほろば景観まちづくり条例に基づく奈良町都市景観形成地区を中心とした「ならまち」において、地域の文化振興・活性化のための事業及び広報啓発事業を実施した。

○奈良市ならまちセンター

当初、自主及び企画事業を20事業予定していたが、出来る限りの新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、開催可能であると判断した10事業を開催した。

2年連続で中止となっていた「ならまちいきいきフェスタ」と称した文化祭の再開や奈良出身の出演者を起用した「ならまち新春コンサート」や「ならまち落語会」、地域やNPOとの協働事業「子どもおん祭」や周辺施設との共催による「古文書講座」、また昨年8月にオープンした1階ギャラリーでは奈良の魅力を発信するアート展示やワークショップを開催した。

催事等の開催回数32回 参加人数 48,789人

○奈良市音声館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止、若しくは開催回数を大幅に減らして実施した。その中で、感染症対策を講じた上で開催した事業は、奈良で古くからうたわれてきた“わらべうた”を後世に伝える「ならまちわらべうた教室」、子どもに伝統文化や音楽を学ぶ場として「伝統文化を学ぼう～子どもお茶教室・子どもいけ花教室」、「子ども邦楽教室～箏・三味線・尺八～」を行った。奈良の民話普及事業では、例年開催している民話を題材にした創作ミュージカル公演を昨年度に続き中止し、大型紙芝居の公演のみを行った。また、アウトリーチ活動として「ならまち格子の家」での民話の語りを開催し、小学校等への大型紙芝居の出張公演を行った。わらべうた普及事業である「出張わらべうた教室」は数回であるが依頼を受け開催した。

また、同館スタッフによる「エントランスコンサート」や一般市民が出演・出展する「やわらぎコンサート」、「ミュージックフェスティバル」、「音声館ギャラリー制作教室」は引き続き中止とし、昨年度から代替え事業として開催した「スタインウェイピアノを弾いてみよう」を2ヶ月ごとの定期開催とし好評を得た。

催事等の開催回数 159回 参加人数 3,928人

○なら工芸館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、奈良工芸フェスティバルが中止となった。

6月から施設機能強化整備改修工事による臨時休館があったが、「日本伝統工芸近畿展IN奈良」、工芸制作教室(8種目・9教室)については、日程を調整して開催し

た。また、伝統工芸後継者育成制度による第5期生3名の研修生が9月で修了し、10月から新たに第6期生3名が工房主の下での研修を始めた。奈良市観光協会の協力事業として奈良市総合観光案内所にて工芸品の出張展示及び実演・販売を行った。子どもを対象にした夏休み期間中の工芸教室、とんぼ玉、奈良団扇の「一日体験工芸教室」を開催した。企画展として販売コーナーにおいて納涼展、干支展、雛展を開催した。

催事等の開催回数 153回 参加人数 16,913人

○入江泰吉記念奈良市写真美術館

展示事業では、聖徳太子没後1400年事業の一環で聖徳太子や法隆寺に関する入江泰吉の代表作品を中心に構成して展覧会を開催した。聖徳太子関係各所と連携しながら事業を行うことで相乗効果をより得て入江氏の顕彰にもつながった。また、世界で活躍する写真家の展覧会を開催することにより注目を集め、新たな客層の誘客につながった。

展示事業以外では、アウトリーチ活動として、奈良県高等学校写真部会と共催で総合文化祭や写真部活性化のための事業を開催した。また、奈良市立小学校へ出張講座を行うことで若年層への写真芸術の普及に努めた。

なお、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館となったことやイベント、講座を縮小して開催したこと、また池改修工事に伴う臨時休館（1月～3月）で入館者、参加者の人数に大きな影響が出た。

催事等の開催回数 65回 参加人数 14,642人

○入江泰吉旧居

講座イベント等については、感染症対策を講じた上で、「はじめの一句」や「入江泰吉さんぼみち」、「入江泰吉の眼を歩く」等を実施したが、暗室を使っての事業や「お抹茶でひとやすみ」といった飲食の伴う事業は、回数を減らしたり、見送ったりした。厳しい状況下で現状維持に努めつつ、前年度とほぼ同じ実績を残すことができた。

催事等の開催回数 26回 参加人数 179人

○奈良市ならまち格子の家

新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休館になった日数が前年度より多くなり来館者が大幅に減少した。細心の感染症対策を講じて来訪者に対する案内業務（受付やならまち観光の見所紹介）や「ならまちの歴史と町並み紹介」の常設展示、共催事業として、「奈良の民話を楽しもう」を年6回、入江泰吉ならまち巡回展「入江泰吉昭和のならまち」展の開催。協力事業として、「奈良町まほろば絆」展を10月、この他、なら町家研究会による「江戸時代の奈良町家」パネル展を1月に開催した。

催事等の開催回数 58回 参加人数 7,846人

(4) 勤労者福祉サービス事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市勤労者総合福祉センター 入館者数 52,528人 (98.9%)

奈良市勤労者総合福祉センターでは、施設の部分的なリニューアルを行なった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による施設利用者数の人数制限緩和、利用区分の変更により入館者数は増加した。

(事業内容)

地域経済の担い手である中小企業勤労者を対象に、福祉の向上及び余暇活用の充実、生活の安定を図るため、総合的な福祉事業を実施した。

○奈良市勤労者総合福祉センター

人数制限等、感染症対策を講じた上でパソコン教室やヨガ教室、陶芸教室の他、各種教室を開催した。

催事等の開催回数 64回 参加人数 5,667人

○勤労者福祉サービスセンター事業部門

企業内福祉をサポートする役目を担い、勤労者の福利厚生の実施に役立つ事業を実施した。具体的には、市内の中小企業の事業所に対し、福祉事業の内容について広報を行うとともに加入の促進を図った。また、福利厚生事業として会員及びその家族を対象に、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上での施設割引利用、会員の相互扶助を基本とした各種給付事業、健康維持・健康増進事業及び文化各種教室の受講費補助を行う健康管理事業並びに貸付斡旋事業を実施した。

本施設における各事業に対する利用者数

施設利用事業	延べ人数	12,852人
健康管理事業	延べ人数	3,185人
給付事業		989人

(5) 都祁地域振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数又は利用者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度比

奈良市都祁交流センター 入館者数 9,229人 (82.5%)

奈良市都祁体育館 利用者数 9,024人 (35.2%)

奈良市都祁生涯スポーツセンターコート
利用者数 3,082人 (5.3%)

奈良市都祁生涯スポーツセンター球技場
利用者数 14,466人 (90.3%)

奈良市都祁生涯スポーツセンター多目的コート

利用者数 172人 (212.7%)

奈良市都祁生涯スポーツセンタークラブハウス

利用者数 20人 (1%)

奈良市都祁交流センターの入館者数は、大半の事業が中止となったが、開館30周年の記念事業や利用件数の増加により、前年度より約4,100人の増加となった。

奈良市都祁体育館については、利用制限はあったが、「e古都なら」ネット予約システムによって知名度がアップし利用件数は大幅な増加となった。

奈良市都祁生涯スポーツセンター4施設については、利用制限や気候の影響があったものの球技場の利用者数は昨年度より約6,800人、テニスコートについては、約150人の増加となった。

多目的コートについては、球技場のサブコートとしての利用が増加した。クラブハウスについては、夏季の熱中症対策の控室や更衣室の利用等があった。

(事業内容)

都祁地域において、市民の文化芸術の振興及び東部地域住民との交流促進に努め、生涯スポーツ宣言地域として各種団体等による幅広い施設利用を推進し、東部地域の発展に寄与するための事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となり2事業のみの開催となった。

奈良市都祁交流センターでは、開館30周年の記念事業として、11月7日から約3ヶ月にわたり、都祁まちづくり協議会の支援、地元の中学校や高校の協力も得て、感染症対策を講じた上で「30年の歩み」と題しての展示会を開催した。オープニングセレモニーやクリスマスでは、施設を拠点に活動している吹奏楽団による演奏会やエントランスでのミニコンサート等を通じて、地元の皆さんとの交流も深め、飲食業界の応援企画としてテイクアウト商品の紹介と販売も毎週実施した。

奈良市都祁公民館との共催事業では、子ども向けの映画会を開催した。

催事等の開催回数 2回 参加人数 879人

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	279,562,535	251,224,478	28,338,057	
現金	4,692,915	5,468,047	△ 775,132	
普通預金	274,869,620	245,756,431	29,113,189	
未収金	8,526,556	7,021,084	1,505,472	
前払金	1,563,770	1,702,270	△ 138,500	
商品	3,466,109	3,554,659	△ 88,550	
貯蔵品	99,420	121,447	△ 22,027	
流動資産合計	293,218,390	263,623,938	29,594,452	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0	
(2) 特定資産				
財政変動準備積立金	132,000,000	132,000,000	0	
減価償却引当預金	2,434,188	2,129,584	304,604	
書道芸術振興積立金	36,761,776	37,232,436	△ 470,660	
永年在会給付事業積立預金	7,438,742	10,435,742	△ 2,997,000	
運営基金積立準備預金	8,147,291	7,972,291	175,000	
共済事業引当預金	394,823	750,423	△ 355,600	
記念事業費積立預金	3,484,983	11,256,263	△ 7,771,280	
特定資産合計	190,661,803	201,776,739	△ 11,114,936	
(3) その他の固定資産				
車両運搬具	304,605	609,209	△ 304,604	
什器備品	46,120	92,237	△ 46,117	
リース資産	5,514,480	8,391,600	△ 2,877,120	
預託金	9,140	9,140	0	
その他固定資産合計	5,874,345	9,102,186	△ 3,227,841	
固定資産合計	246,536,148	260,878,925	△ 14,342,777	
資産の部合計	539,754,538	524,502,863	15,251,675	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	93,871,658	107,424,469	△ 13,552,811	
前受金	263,350	988,900	△ 725,550	
預り金	11,407,627	6,930,006	4,477,621	
リース債務	2,877,120	2,877,120	0	
流動負債合計	108,419,755	118,220,495	△ 9,800,740	
2. 固定負債				
リース債務	2,637,360	5,514,480	△ 2,877,120	
固定負債合計	2,637,360	5,514,480	△ 2,877,120	
負債の部合計	111,057,115	123,734,975	△ 12,677,860	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産合計	86,003,617	86,003,617	0	
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(36,003,617)	(36,003,617)	(0)	
2. 一般正味財産				
(うち特定資産への充当額)	(154,658,186)	(165,773,122)	(△ 11,114,936)	
正味財産の部合計	428,697,423	400,767,888	27,929,535	
負債及び正味財産合計	539,754,538	524,502,863	15,251,675	

収 支 計 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	20,000	8,400	11,600	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	45,000	40,583	4,417	
③ 受取入会金				
受取入会金	175,000	150,000	25,000	
④ 受取会費				
受取会費	36,364,000	35,710,300	653,700	
⑤ 事業収益				
入場料収益	36,118,000	9,834,200	26,283,800	
観覧料収益	99,000	33,900	65,100	
受講料収益	92,932,000	47,872,695	45,059,305	
利用料金収益	8,717,000	7,239,450	1,477,550	
出品料収益	600,000	528,000	72,000	
参加費収益	1,771,000	881,300	889,700	
普及事業収益	485,000	43,500	441,500	
小売業収益	3,510,000	1,816,300	1,693,700	
受取手数料	3,917,000	2,889,910	1,027,090	
事業受託収益	208,000	323,000	△ 115,000	
共催事業管理収益	8,957,000	10,823,220	△ 1,866,220	
その他収益	1,527,000	1,796,396	△ 269,396	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,239,351,000	1,230,144,961	9,206,039	
受取地方公共団体補助金	94,295,000	94,238,795	56,205	
受取民間助成金	50,000	30,000	20,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	24,280,000	14,317,400	9,962,600	
⑧ 雑収益				
受取利息	6,000	5,694	306	
雑収益	2,677,000	4,451,449	△ 1,774,449	
運営協力金等収益	1,100,000	1,718,806	△ 618,806	
経常収益計	1,557,204,000	1,464,898,259	92,305,741	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	447,697,000	488,216,897	△ 40,519,897	
臨時雇賃金	60,671,000	52,994,221	7,676,779	
福利厚生費	99,072,000	93,517,548	5,554,452	
視察費	100,000	0	100,000	
旅費交通費	933,000	230,500	702,500	
通信運搬費	10,878,000	7,749,951	3,128,049	
減価償却費	3,230,000	3,227,841	2,159	
消耗什器備品費	1,307,000	180,663	1,126,337	
消耗品費	31,320,000	16,347,356	14,972,644	
修繕費	14,480,000	12,997,568	1,482,432	
印刷製本費	14,052,000	9,213,567	4,838,433	
燃料費	1,696,000	956,816	739,184	
光熱水料費	260,752,000	219,622,686	41,129,314	
賃借料	32,062,000	24,465,745	7,596,255	
保険料	8,317,000	6,221,035	2,095,965	
諸謝金	47,850,000	27,199,227	20,650,773	
租税公課	66,544,000	63,804,427	2,739,573	
支払負担金	4,220,000	4,124,267	95,733	
支払助成金	64,347,000	44,932,384	19,414,616	
委託費	321,395,000	278,214,991	43,180,009	
会議費	100,000	14,237	85,763	
支払手数料	8,965,000	4,227,602	4,737,398	
広告宣伝費	2,710,000	1,288,100	1,421,900	
仕入	1,602,000	1,076,514	525,486	
交際費	29,000	29,000	0	
原材料費	1,475,000	1,349,850	125,150	
医薬材料費	1,421,000	1,230,432	190,568	
雑費	120,000	3,000	117,000	
② 管理費				
役員報酬	175,000	1,000	174,000	
給料手当	51,150,000	51,800,053	△ 650,053	
福利厚生費	9,642,000	9,609,954	32,046	
研修費	200,000	199,300	700	
旅費交通費	22,000	8,560	13,440	
通信運搬費	327,000	242,171	84,829	
消耗什器備品費	112,000	111,870	130	
消耗品費	456,000	330,284	125,716	
修繕費	8,000	0	8,000	
印刷製本費	16,000	15,950	50	
燃料費	29,000	29,000	0	
賃借料	4,049,000	3,914,835	134,165	
保険料	5,000	3,200	1,800	
諸謝金	521,000	448,500	72,500	
租税公課	34,000	21,413	12,587	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支払負担金	136,000	132,089	3,911	
委託費	2,272,000	2,271,500	500	
支払手数料	181,000	165,025	15,975	
經常費用計	1,576,680,000	1,432,741,129	143,938,871	
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 19,476,000	32,157,130	△ 51,633,130	
評価損益等計	0	0	0	
当期經常増減額	△ 19,476,000	32,157,130	△ 51,633,130	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	0	6,350,236	△ 6,350,236	
② 雑益				
雑益	0	4,830,005	△ 4,830,005	
經常外収益計	0	11,180,241	△ 11,180,241	
(2) 經常外費用				
① 特別退職金				
特別退職金	0	6,350,236	△ 6,350,236	
② 雑損失				
雑損失	0	346,500	△ 346,500	
經常外費用計	0	6,696,736	△ 6,696,736	
当期經常外増減額	0	4,483,505	△ 4,483,505	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 19,476,000	36,640,635	△ 56,116,635	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 19,476,000	36,640,635	△ 56,116,635	
法人税、住民税及び事業税	3,538,000	8,711,100	△ 5,173,100	
当期一般正味財産増減額	△ 23,014,000	27,929,535	△ 50,943,535	
一般正味財産期首残高	314,619,000	314,764,271	△ 145,271	
一般正味財産期末残高	291,605,000	342,693,806	△ 51,088,806	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,004,000	86,003,617	383	
指定正味財産期末残高	86,004,000	86,003,617	383	
III 正味財産期末残高	377,609,000	428,697,423	△ 51,088,423	

正味財産増減計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	8,400	22,500	△ 14,100	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	40,583	136,206	△ 95,623	
③ 受取入会金				
受取入会金	150,000	144,000	6,000	
④ 受取会費				
受取会費	35,710,300	36,075,400	△ 365,100	
⑤ 事業収益				
入場料収益	9,834,200	1,747,214	8,086,986	
観覧料収益	33,900	89,400	△ 55,500	
受講料収益	47,872,695	33,298,775	14,573,920	
利用料金収益	7,239,450	0	7,239,450	
出品料収益	528,000	568,000	△ 40,000	
協賛金収益	0	2,732,580	△ 2,732,580	
参加費収益	881,300	151,000	730,300	
普及事業収益	43,500	65,500	△ 22,000	
小売業収益	1,816,300	1,536,140	280,160	
受取手数料	2,889,910	1,128,325	1,761,585	
事業受託収益	323,000	175,000	148,000	
共催事業管理収益	10,823,220	2,398,620	8,424,600	
その他収益	1,796,396	1,243,760	552,636	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,230,144,961	1,236,698,392	△ 6,553,431	
受取地方公共団体補助金	94,238,795	108,800,858	△ 14,562,063	
受取民間助成金	30,000	50,000	△ 20,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	14,317,400	16,707,588	△ 2,390,188	
⑧ 雑収益				
受取利息	5,694	4,825	869	
雑収益	4,451,449	4,218,633	232,816	
運営協力金等収益	1,718,806	574,739	1,144,067	
経常収益計	1,464,898,259	1,448,567,455	16,330,804	

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	488,216,897	502,124,346	△ 13,907,449	
臨時雇賃金	52,994,221	46,545,072	6,449,149	
福利厚生費	93,517,548	97,149,340	△ 3,631,792	
視察費	0	4,000	△ 4,000	
旅費交通費	230,500	229,970	530	
通信運搬費	7,749,951	7,977,456	△ 227,505	
減価償却費	3,227,841	3,564,372	△ 336,531	
消耗什器備品費	180,663	243,201	△ 62,538	
消耗品費	16,347,356	14,281,229	2,066,127	
修繕費	12,997,568	16,552,274	△ 3,554,706	
印刷製本費	9,213,567	8,347,712	865,855	
燃料費	956,816	880,764	76,052	
光熱水料費	219,622,686	191,298,391	28,324,295	
賃借料	24,465,745	23,657,897	807,848	
保険料	6,221,035	6,171,213	49,822	
諸謝金	27,199,227	19,132,640	8,066,587	
租税公課	63,804,427	65,136,044	△ 1,331,617	
支払負担金	4,124,267	3,699,767	424,500	
支払助成金	44,932,384	39,108,505	5,823,879	
委託費	278,214,991	269,390,428	8,824,563	
会議費	14,237	7,668	6,569	
支払手数料	4,227,602	3,102,867	1,124,735	
広告宣伝費	1,288,100	1,030,300	257,800	
仕入	1,076,514	921,776	154,738	
交際費	29,000	0	29,000	
原材料費	1,349,850	1,194,388	155,462	
医薬材料費	1,230,432	1,143,003	87,429	
雑費	3,000	7,400	△ 4,400	
② 管理費				
役員報酬	1,000	28,000	△ 27,000	
給料手当	51,800,053	51,499,557	300,496	
福利厚生費	9,609,954	9,653,453	△ 43,499	
研修費	199,300	50,270	149,030	
旅費交通費	8,560	5,970	2,590	
通信運搬費	242,171	256,928	△ 14,757	
消耗什器備品費	111,870	178,500	△ 66,630	
消耗品費	330,284	367,335	△ 37,051	
印刷製本費	15,950	0	15,950	
燃料費	29,000	25,000	4,000	
賃借料	3,914,835	3,989,431	△ 74,596	
保険料	3,200	3,200	0	
諸謝金	448,500	398,500	50,000	
租税公課	21,413	44,012	△ 22,599	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払負担金	132,089	122,149	9,940	
委託費	2,271,500	2,271,500	0	
支払手数料	165,025	507,080	△ 342,055	
経常費用計	1,432,741,129	1,392,302,908	40,438,221	
評価損益等調整前当期経常増減額	32,157,130	56,264,547	△ 24,107,417	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	32,157,130	56,264,547	△ 24,107,417	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	6,350,236	5,557,694	792,542	
② 雑益				
雑益	4,830,005	6,260,979	△ 1,430,974	
経常外収益計	11,180,241	11,818,673	△ 638,432	
(2) 経常外費用				
① 特別退職金				
特別退職金	6,350,236	5,557,694	792,542	
② 雑損失				
雑損失	346,500	1,556,500	△ 1,210,000	
経常外費用計	6,696,736	7,114,194	△ 417,458	
当期経常外増減額	4,483,505	4,704,479	△ 220,974	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	36,640,635	60,969,026	△ 24,328,391	
税引前当期一般正味財産増減額	36,640,635	60,969,026	△ 24,328,391	
法人税、住民税及び事業税	8,711,100	15,274,100	△ 6,563,000	
当期一般正味財産増減額	27,929,535	45,694,926	△ 17,765,391	
一般正味財産期首残高	314,764,271	269,069,345	45,694,926	
一般正味財産期末残高	342,693,806	314,764,271	27,929,535	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産期末残高	86,003,617	86,003,617	0	
III 正味財産期末残高	428,697,423	400,767,888	27,929,535	

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科	目	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
	現金預金	279,562,535
	現金	4,692,915
	普通預金	274,869,620
	南都銀行	270,613,239
	近畿労働金庫	4,256,381
	未収金	8,526,556
	前払金	1,563,770
	商品	3,466,109
	貯蔵品	99,420
	流動資産合計	293,218,390
2. 固定資産		
基本財産		
	定期預金	50,000,000
	南都銀行	10,000,000
	近畿労働金庫	10,000,000
	奈良県農業協同組合	10,000,000
	奈良信用金庫	10,000,000
	大和信用金庫	10,000,000
特定資産		
	財政変動準備積立金	132,000,000
	減価償却引当預金	2,434,188
	書道芸術振興積立金	36,761,776
	永年在会給付事業積立預金	7,438,742
	運営基金積立準備預金	8,147,291
	共済事業引当預金	394,823
	記念事業費積立預金	3,484,983
その他固定資産		
	車両運搬具	304,605
	什器備品	46,120
	リース資産	5,514,480
	預託金	9,140
	固定資産合計	246,536,148
	資産合計	539,754,538
II 負債の部		
1. 流動負債		
	未払金	93,871,658
	前受金	263,350
	預り金	11,407,627
	リース債務	2,877,120
	流動負債合計	108,419,755
2. 固定負債		
	リース債務	2,637,360
	固定負債合計	2,637,360
	負債合計	111,057,115
	正味財産	428,697,423